

防災教育連絡協議会

防災教育の取り組み

高知県黒潮町立佐賀小学校
教諭 夕部 由美

1

○ 佐賀小の地理的環境

- ・海拔 **6.1m**
- ・近くに海岸と河川
- ・せまい道路・崩れやすい壁・家屋

★児童数 **103名**
(6学級+特別支援学級4)

2

○ 最大震度予想・津波予想

- ・震度予想→**震度7**
- ・最大浸水深→**15m~20m**
- ※条件が重なれば、**34.4m級**の津波

3

○ 防災教育の目標

主体的に行動し、自分の命は自分で守ることのできる児童の育成

低学年

中学年

高学年

災害が発生したときに、災害に応じて、自ら適切な行動ができる。

災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら適切な行動ができる。

災害が発生したときに、自ら適切な行動ができるとともに、他の人々の安全にも気配りができる。

4

○ 防災教育の授業実践

2年

津波から身を守るには？



5

○ 防災教育の授業実践

2年

津波から身を守るには？



6

○ 防災教育の授業実践

2年

津波から身を守るには？



7

○ 防災教育の授業実践

2年

津波から身を守るには？



8

○ 校内研の様子



9

○ 校内研の様子



10

○ 佐賀小 避難時の約束

合言葉は おとしたま

- お…おさない
- と…とまらない
- し…しゃべらない
- だ…たよらない
- ま…またない

11

○ 避難訓練

～初期行動はだんご虫のポーズ～



12

○避難場所へ各自が避難



13

○休み時間の避難訓練でも

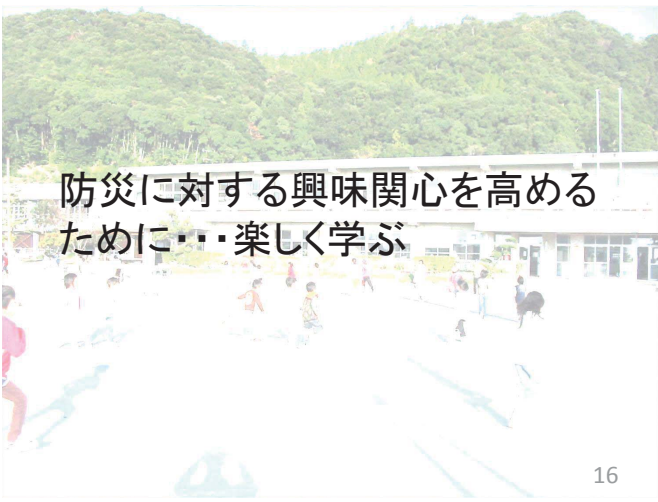


14

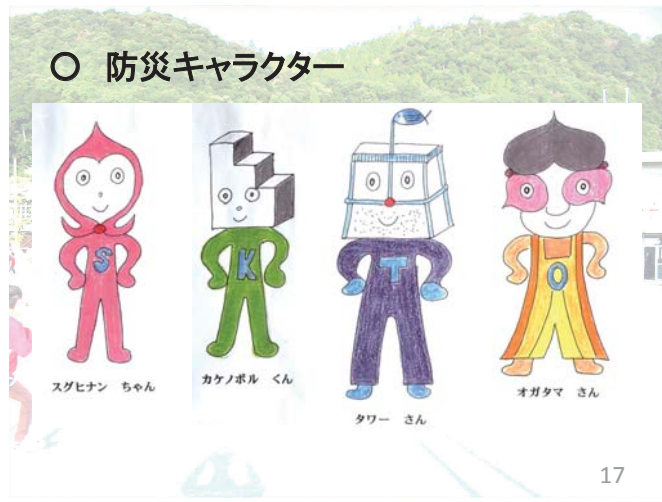
○色々な場を想定しての避難訓練

- 1 春の遠足の自由時間中に
- 2 掃除の時間や休み時間
- 3 授業中
- 4 保・小・中・地域合同避難訓練
- 5 登下校中(現在企画中)

15



16



17



18



19



20



21



22



23



24

○ 防災ポスター



25

○ 防災ポスター



26

○ 防災ポスター



27

○ 防災かるた



28

○ 防災標語

- 1年 ゆれたら すぐに だんごむし
- 2年 ひとりでも つなみがきたら すぐにげる
- 3年 つなみはね はやいときには3ふんだ
- 4年 いつか来る つなみや地しん いざ訓練
- 5年 「ここはこん」 だれが決めた そんなこと
- 6年 知っておこう 自分がにげる ひなん場所

29



30

ぼうさいソング

① ぼうさい ぼうさい しってるかい
じしんがきたら つなみがくるぞ
おとしたま おとしたま おとしたまを
まもって すぐにげる

② ぼうさい ぼうさい しってるかい
じしんがきたら つくえのしたに
ダンゴむし ダンゴむし ダンゴむし
じぶんを まもろうよ

③ ぼうさい ぼうさい しってるかい
じしんがきたら たかだいへ
スグヒナン カケノボル
ぜったい みんなで いきのびろ

31

④ 南海じしんに そなえよう
持ち出しぶくろも よういして
水や ひじょう食
ぼうさいグッズも 入れておこう

⑤ こうじん山や ひなんタワー
たくさんあるよ ひなん場所
あんげんで 一番近い
たか台へ どんどん走れ

⑥ ぼくも わたしも みんなも
自分の命は 自分でまもる
生きぬいて ふるさとの
青い海を みんなで見よう

32

○ 防災意識アンケート(H25実施)

◎アンケートから見てきたこと

- ・学年の発達段階に応じて、**地震の恐さ**や**避難の難しさ**など、現実と向き合う学習ができています。
- ・**自宅での避難場所**を全員把握するようになった。
- ・家族防災会議などで、家庭でも**集合場所**など話し合う機会をもっている。
- ・登下校中の**避難方法**に不安を抱えている人が多い。
- ・**家庭への啓発**が求められる。また、学校での学びを家庭に持ち帰って、**家族と話し合う習慣**を身に付けさせることも進めたい。

33

○ 子どもたちの変容

- ・防災に対する**関心の高まり**
- ・震災に関する**知識**
- ・いざという時の**心構え**
- ・避難訓練時の**態度**

34

● 課題

- ・関心・意欲・態度の**個人差**。
- ・**学校管理外**での危機管理。
- ・保護者への**啓発**・保護者との**協働**。

○防災参観日の実施(9月第1週)

○学校周辺の地域の方々と合同避難訓練を実施(10月30日)

35

南海トラフ地震にそなえよう～防災標語～



36



37



38